

尿検査

No.10 01
2017

腎臓系や尿路系などの疾患を発見することを目的として、**尿中の細胞やたんぱく質、糖などから身体の健康状態を調べる検査**を尿検査といいます。一般的な健康診断で実施される検査項目のひとつです。



URINALYSIS

尿検査で健康チェック

おしっこは知っている！

Q. 尿検査ってどんな検査ですか？

尿コップに「中間尿（排尿の途中の尿）」をとるだけです。簡単な検査ですが、色々な臓器の異常や疾病の徵候を調べることができます。

おしっこが教えてくれること



● 尿比重

尿の中にはさまざまな物質が含まれており、水に比べて比重が高くなります。腎臓の働きが障害されたり、体内水分を調節するホルモンの異常により尿比重は異常値を示します。

女性でも
安心

プライバシーに配慮した尿検査ができます

あさのクリニックでは、プライバシーに配慮した採尿対応が可能です。お気軽にご相談ください。また、発熱や運動、薬の影響で一時的に検査結果が陽性になることもありますので、体調などについて事前にスタッフにお伝えください。

Q. どのようなことがわかりますか？

尿検査で主に分かるのは、尿をつくる腎臓と尿道や膀胱など尿の通り道の情報です。**糖尿病や腎臓、尿路の病気**なども知ることができます。

● 尿潜血

尿に血が混じっていないかを調べます。尿の通り道のどこかに出血源がある場合—尿路結石、膀胱炎、糸球体腎炎などで陽性となります。

● 尿糖

血糖値がおよそ 160～180mg/dl を超えると腎臓から糖が漏れ出てきます。糖尿病、甲状腺機能亢進症や腎性尿糖などで陽性になります。

● 尿蛋白

尿中のたんぱく質の量を調べます。腎臓の働きが正常であれば血液中の蛋白は腎臓ですべて再吸収されます。腎機能が低下すると体にとって必要な蛋白が腎臓から漏れてきます。

● 尿沈渣

尿を遠心分離器にかけてできた沈殿物を調べます。尿中に存在する物質の凝集が尿沈査です。含まれる物質の種類によってどのような疾患に由来するものであるか判断します。